

2023年10月1日

コーヒー・サプライチェーンにおける労働安全衛生改善の支援について ～国際コーヒー機関（ICO）に対する資金協力～

- 1 一般社団法人全日本コーヒー協会は、かねてより国際コーヒー機関（ICO）との間で、世界のコーヒー産業の持続的な発展に対する貢献について、協議を行ってまいりましたが、この度、国際労働機関（ILO）ビジョン・ゼロ・ファンド（Vision Zero Fund）による「グローバル・コーヒー・サプライ・チェーンにおける労働安全衛生改善プロジェクト」の一環として、国際コーヒー機関（ICO）とILOとの連携により実施されるプロジェクト（本年度はコロンビアにおいて実施）に対し、資金支援を行うことを決定いたしました。
- 2 我が国コーヒー産業は、原料コーヒー豆のほとんどを輸入に依存していることから、生産国における持続可能なコーヒー豆生産の確保が極めて重要であることは言うまでもありません。
一方、主要生産国のほとんどは発展途上国であり、国民所得が低く、また労働安全衛生条件が良好とは言えない国・地域が少なからず存在します。このような国・地域において、生産現場の労働安全衛生条件の向上を支援していくことは、
 - ① サプライチェーン全体における人権尊重の取組みが求められている中で¹、人権侵害リスクの防止・軽減等に資するとともに、
 - ② 生産性の向上等を通じて、我が国へのコーヒーの安定供給の確保、世界のコーヒー産業の持続可能な発展に寄与することとなると考えられます。
- 3 本年度の事業内容は、以下のとおりです。
 - ① コロンビアの主要なステークホルダーの参加によるワークショップの開催
コーヒーのサプライチェーンにおける安全で健康的な労働環境の実現のための最新動向の共有及びステークホルダーの協力についての検討
 - ② 地域における課題解決のためのワークショップの開催
ウイラ県コーヒー部門競争力地域委員会との連携の下に、ディーセント・ワークの課題、コーヒー収穫・栽培者の労働条件の改善についての関係者による共通ビジョンの策定（責任ある企業行動に関する国際文書に沿った共通アジェンダの策定）。
- 4 支援額：本年度2万ポンド（約360万円）

¹ 「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」（令和4年9月 ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議）

(参考)

ILO グローバル・コーヒー・サプライチェーンにおける労働安全衛生改善プロジェクト

1 趣旨

コーヒー・サプライチェーンにおける深刻な労働関連事故・疾病等をゼロにするというビジョン達成に向けて様々な活動を行う。

2 内容

- (1) コーヒー生産者の労働安全衛生に関する知識・態度・行動に関する調査
- (2) 小規模農園に対する基礎的な労働安全衛生訓練の実施
- (3) 女性コーヒー農業者に対する労働安全衛生に関する能力開発支援
- (4) 労働災害・疾病に関する報告、記録、通知に関する知識の向上
- (5) 労働安全衛生促進キャンペーンの実施
- (6) 仲介業者、トレーダー、倉庫業者向けワークショップの実施